

ところ、副食費の補助などに充てる予定はない。



保育園の給食風景

○平成30年度行田市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算認定

問 地域包括支援センターにおける高齢者の虐待対応とはどのようなものか。

答 地域包括支援センターによる相談対応のほか、緊急性が高いもの等については市が対応している。虐待は速やかな状況確認が必要ため、身体的な虐待のほか、暴言などによる心理的虐待や必要な介護を行わないネグレクト等も市と地域包括支援センターで連携して対応している。

○平成30年度行田市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算認定

問 保険給付費が平成27年度より年々減少しているが、そ

の要因は何か。

答 平成27年度はC型肝炎の新薬の保険適用、がんの治療薬といった高額調剤の伸びにより、医療費が上がった。その後、平成28年の薬価改定により約3割下がり、さらに平成29年にがん治療薬も5割下がった。このような薬価の変動と被保険者数の減少が大きく影響していると考えられる。

決算審査特別委員会

委員7名で構成する決算審査特別委員会を設置し、今定例会で継続審議とした「平成30年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について」を付託しました。

同委員会は閉会中に審査を行い、その結果を12月定例会で報告することとなります。なお、委員の構成は次のとおりです。

委員長	細谷 美恵子
副委員長	吉田 豊彦
委員	野本 翔平
委員	村田 秀夫
委員	高橋 弘行
委員	福島 智雄
委員	高澤 克芳

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

9月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。



専用アプリで読み取ると議会中継がご覧いただけます。

治水対策

忍川及び流域の洪水対策について

小林 修
(市民と共に働く会)

問 河川の治水対策、内水排除対策を推進し、災害に強いまちづくりをしなければならぬが、時間雨量50ミリ程度の雨量に対する整備を計画している忍川本体の未改修区

答 所管する埼玉県に確認したところ、利根川水系の河川整備計画に位置付けはあるものの、事業は未着手とのことであるが、本市の治水対策としては、忍川、旧忍川の県

が計画する事業の効果は大きなものであると認識しており、今後あらゆる機会を通じて埼玉県に働きかけていく。

問 内水排除施設の整備状況や老朽化対策は。

答 整備状況は、西新町地区の貯留浸透施設、藤原町地区の雨水排水ポンプの設置など、計画的に

進めている。経年劣化による施設の老朽化対策では、毎年保守点検を実施し、その結果を延命化に向けた修繕計画に反映し、維持管理をしている。

●公共下水道について
問 下水道は汚水や雨水を速やかに排除し、浸水を防ぐなど、安心安全で快適な生活を支えているが、昭和25年から布設した下水道管を見ると、既に耐用年数が50年を超えた管渠延長が30キロメートル超あり、老朽化による道路陥没、下水道の機能停止等が懸念される。点検や劣化の確認はどのように実施しているのか。

答 今年度から、管路の腐食破損などの状況をより詳細に把握するため、テレビカメラによる調査を実施し、計画的に老朽化対策に取り組んでいる。

○行田市道路里親制度